



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

2011~2012年度

会報



愛と笑いで創ろう友の和・広げよう奉仕の輪

2011.07.20. 第975回例会 No.22-03 2011.7.27発行

司会 SAA・親睦委員会 足立潤三郎
点鐘 会長 小泉 博
ロータリーソング 「そでこそロータリー」
ソングリーダー 吉沢 洋景

お客様紹介

岡山西南RC 椎原 裕二様
青少年交換派遣生 細谷愛菜さん

出席者数	出席義務者	18名
	出席義務免除者	7名
	事前MU	0名
	計	25名
出席率	25/31 =	80.65%
第973回例会(7/6)	訂正出席率	78.13%

会務報告

会長 小泉 博

- *7月18日(月)社会を明るくする運動のパレードに当クラブから数名参加しました。
- *7月13日 第1回地区クラブ会長幹事会に会長・幹事で出席。片倉ガバナーは 会長のやる気がクラブを大きくする、親睦と奉仕がロータリーの基本である、と言われました。市川研修リーダーはRI会長テーマに関し、家族・継続・変化の具体的な解釈を話されました。家族については、あちらではロータリーを子供の頃から知っている、家族ぐるみでロータリーをやっている、家族子供を含んでロータリーの活動をするべきである。継続とは次のステップに進めること、継続するのは効果でありこの効果が薄れないように続けることである、と話されました。松下研修副リーダーはロータリアンはもっとロータリーを語ろう、ロータリアンがロータリーを語らなくて誰が語る?親睦と奉仕は自転車の両輪、どっちが前か? 後ろか、奉仕が後輪、こぎ手は会員であると言われました。
- *11月14日、新宿ハイアットリージェンシーで地区新会員セミナー開催。入会4年未満各クラブ3名位参加です。
- *国際大会が2012年5月、バンコクにて開催されます。
- *7月19日の多摩東グループ第3回グループ協議会の報告。
 - ・iシティRCの遠藤立一会長、藤井丈久幹事が挨拶。
 - ・ガバナー公式訪問の話がありました。
 - ・9月13日 グループ研修会実施される予定。1クラブ3名、幹事と3年未満会員2名の参加です。
 - ・10月25日、第1回多摩東グループ親睦ゴルフコンペがあります。これはゴルフ同好会に相談いたします。
 - ・各クラブの活動方針発表がありました。

幹事報告

特になし。

【 委員会報告 】

出席報告 出席奨励委員 宮村 宏
会員総数 34名
出席義務者数 24名

ニコニコBOX SAA・親睦委員長 岩本 光雄

- 小泉 博 お客様ようこそ水野様ガバナー訪問お世話になります。
- 大松 誠二 社会を明るくするパレードへの参加お疲れ様でした。
- 遠藤 二郎 青少年交換派遣学生の細谷愛菜さん元気で行ってらっしゃい。
- 萩生田政由 水野さんようこそ!
- 岩本 光雄 女子サッカーワールドカップ・フェアプレー賞・世界一おめでとう。健闘を祝してカンパイ。
- 伊澤ケイ子 台風が気になります。
- 宮本 誠 なでしこはえらい!
- 宮村 宏 細谷さんドイツで頑張ってください。
- 村上 久 会員増強にご協力をお願いします。
- 中谷 紘子 暑い日が続いていました。今日は一寸一息です。
- 齋藤 誠壽 台風が近づいています。お気をつけ下さい。
- 関岡 俊二 お客様ようこそ。
- 津守 弘範 先日の社会を明るくするパレードに多くの参加ありがとうございました。

本日の合計¥25,000(累計¥65,000)

その他委員会

青少年交換派遣生、細谷愛菜さん出発に際して

カウンセラー 遠藤二郎

細谷さんの志望の動機や抱負は応募時高1年生で「私がと高校を選ぶときに国際科にしたのは留学をしたかったからです。単なる語学留学だけの受け身の学習はしたくない、という思いがありました。高校生になって知ったこのロータリーの企画は、伝えると云う目的があり、吸収するだけでなく、むしろ日本で学んだことを役に立つ形で発信するという充実した内容でした。

私は、是非とも小さな親善大使になり、自分の為にも、

世界親善の為にも、懸け橋を築こうと考えました。この企画で留学する時が来たら私は帰国後もいつまでも親善大使になれると確信しています」ということでした。

「そして、希望どおり派遣が決まり、いよいよ7月31日出発できます。希望を抱くのも自分、叶えるのも自分自身であると、痛感いたしました」とのこと。

世界を舞台に大いに、楽しみ、羽ばたいてきて下さい。一回りも、二回りも成長した姿での帰国を東京多摩グリーンロータリー・クラブ会員一同楽しみにしております。

出発のご挨拶 青少年交換派遣生 細谷 愛菜さん

去年の7月にこちらで面接を受けて以来、学びたいこと・



やりたいことを勉強してきました。そして今年経って出発するに当たり、学んだことは身につけていると確信しています。留学は楽しいことばかりでなく不安もあるのですが皆様の期待に応えたくがんばってきたいと思います。

【第3回クラブ協議会：各委員会活動計画発表】

開会

進行： 幹事 荒瀧 義機
会長 小泉 博

募金委員会

委員長 遠藤 二郎

ロータリー財団募金、米山奨学会の募金を主に力を入れる。突発的な災害時の募金活動も範疇に入るので、皆様のご協力をお願いいたします。

奉仕プロジェクト関連委員会 統括委員長 澄川 昇

今年度は以下、7プロジェクトを中心に動いていきます。

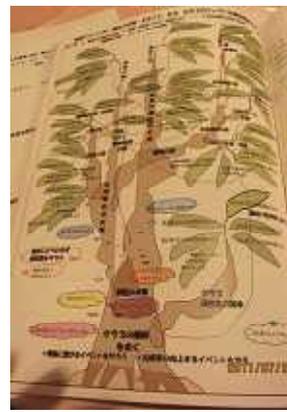
- A. 障害者テニススクール
- B. ロタキッドクラブ支援
- C. 富士見RCとの友好
- D. 「多摩さくらプロジェクト」
- E. カボジアのアコル小児病院支援
- F. 乞田川「蛍再生プロジェクト」
- G. 世界最大の巨木「カウリ」植樹

プロジェクト立案委員会

委員長 宮本 誠

活動計画書19ページの、今年度「奉仕の大樹」を説明。KJ法によるプロジェクト企画会議で提案された一枚一枚の提案カード全てが、この樹木の葉っぱとして表現されています。単に提案を羅列するのではなく、何らかの形で、このように系統立てて見ることによって全体像が浮かび上がってくるというのがKJ法のミソです。

この樹木が大きく繁茂するには、会員を増やして根っこを広げ、出席率を向上させて幹を太くしなければならない、そのためには親睦という栄養が必要で、この幹と根っこがクラブ奉仕というわけです。この幹から奉仕の大枝が分れ、更に小枝に分れ、いろいろなテーマごとに具体的活動の葉っぱが茂っています。しかし、この樹の足元には怪しげな煙が漂っています。提案そのものではなく、「過去にとらわれず新事業をやろう」とか「会長の考えでいい」とかの意見、これは、ちょっとした警告、「プロジェクト企画会議」という大山鳴動して、たいしたアイデアも出ないでは



ないか! という、苛立ちと虚無感の表れ。ならば、思い切って斬新なプロジェクトにチャレンジしてはどうか、実現の可能性を心配するよりは、夢を見よう!

この奉仕プロジェクトイメージ樹を基にして統括委員長が提案し、理事会採択されたプロジェクトにつき各々立案し、理事会審議を経て計画書の通り、基本方針が決定されました。

盛り沢山ですが、

1. 障害者テニススクールの継続

2. カンボジアのアコル小児病院支援

を特に重点プロジェクトとし、予算配分上も配慮する。長期的展開が予想されるプロジェクトについては、今年度は足がかりの年度と位置づけるということです。

奉仕プロジェクト実施委員長発表

奉仕プロジェクト統括委員長 澄川 昇

以下の通り、宜しくお願いします。

- | | |
|-------------------|-------|
| A. 障害者テニススクール | 大松 誠二 |
| B. ロタキッドクラブ支援 | 中谷 綾子 |
| C. 富士見RCとの友好 | 伊澤ケイ子 |
| D. 「多摩さくらプロジェクト」 | 小坂 一郎 |
| E. カボジアのアコル小児病院支援 | 関岡 俊二 |
| F. 乞田川「蛍再生プロジェクト」 | 萩生田政由 |
| G. 世界最大の巨木「かうり」植樹 | 宮村 宏 |

閉会

会長 小泉 博

震災ボランティア談

萩生田政由 会員

7月13日朝4時に高圧洗浄車などの専用車や機械をもって多摩を出発、11時に仙台空港の先の山本町に着きました。最初の日、作業がしたかったのですが打合せで終わってしまい2日目以降も打合わせが多く、なかなか作業に移れませんでした。今まではボランティアの方々が入ってましたが、現在は業者が多く入っていて、いたる所コンボでした。



私は被災した家の清掃を手伝いに行きましたが、膝上までヘドロで、6人がかりで一日2軒です。自費で業者を入れた家は床を剥がして床下まで清掃していましたが、ボランティアの立場では、そこまで

は出来ません。これから我々がまたボランティアするとならば後方支援という形だと思います。

内陸2キロ以上の所は何も被害が無く田んぼも青々として復興の活気にあふれております。その天国と地獄の差が実感されました。ボランティアで出来ることは現場ではほぼ終わっていると思います。これからは行政主導で復興する必要があります。是非何かの支援が出来ればなあ、と思います。

点鐘

会長 小泉 博

(今週の担当： 柴崎 信洋)